

ジャッジさんが評価するポイント

1. 左側を見る

ジャッジさんが評価するポイントはすべてジャッジングシートに書いてあります。
大会に出たときや応募して評価がつけられたとき
点数や評価など右側にばかり気を取られて、左側の評価基準を見逃していませんか？
でもジャッジさんが大会中に見るところ、ジャッジングタイムで話し合うところ
それはすべて紙面の左側の部分をもとにしています。
何点取れたかで一喜一憂するのではなく、僕たちが注目すべき部分は
左側の評価基準が何点だったのかです。
そのためにはまず **Coherency** が何なのか？ **Diction** が何なのか？
評価基準を正確に知っておく必要があります。
上達、成長の答えは全部ジャッジングシートに書いてあるんです。
QA の評価基準を覚えていますか？
To the point と **Reasoning** だけなんです。
QA の練習をやみくもにするのではなくてはっきりと最初に **CCF** で
結論が先に言えているか。そのあとに理由付けがあるか。
ジャッジさんが評価をするときはそれしか考えてないんです。

2. 印象付ける

左側の部分の勘定項目はどのジャッジングシートも大体 **30** 個ありますが
ジャッジングタイムは **3** 分ほどしかありません。一つの評価基準につき **6** 秒です。
デリバリーを評価するときも上の項目から一つ一つ
はいこれは **A**、はいこれは **B** と評価します。
ジャッジングシートの項目から逆算してその項目に当たるであろう部分で
ジャッジさんの方を見てアイコンタクトする
印象付けるだけでいいんです。